

テンジクダイ類

分類：スズキ目 スズキ亜目 テンジクダイ科
 学名：各項に記載
 英名：Cadinalfish

本州以南の温帯から熱帯海域にかけて分布し、沿岸の岩礁付近の砂泥地や珊瑚礁に生息する。体は側扁し背鰭は2基しり鰭棘は2本、大きな耳石をもち、何タイシモチと呼ばれるものが多い。眼は大きく、下顎より上顎が少し短い。尾鰭の切れ込みはやや浅い。卵を口の中で孵化させる珍しい習性をもつ、多獲される種属であるが小型のため水産上の価値は低い。クロホシイシモチ *Apogon notatus* は沖縄からインド沿岸の中層に群生する全長8cmの小型魚で尾柄の中心に円形黒色斑紋をもちカツオ釣りの生き餌として用いられる。ヤライシモチ *Cheilodipterus quinquelineatus* は珊瑚礁に生息し体型はやや細めで暗褐色の地肌に顕著な5本の縦縞がある。



テンジクダイの一種
Apogon nigripes



ヨコスジイシモチの一種
A. binotatus



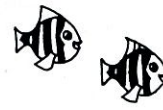
ヤライシモチの一種
Apogon sp



ヤミテンジクダイの一種
A. maculatus



アオハナテンジクダイの一種
A. imberbis



テンジクダイ類



ヨコスジイシモチの一種
 分類：スズキ目 スズキ亜目 テンジクダイ科
 学名：*Apogon binotatus*

